

祖母の住まいを母娘に引き継ぐリフォーム。条件の最も良い南東角の部屋をDKに改修し、出窓の中にキッチンを組み込んだ。ダイニングテーブルとキッチンの高さをそろえるなど、丁寧に設計されている。2階の減築と組み合わせた耐震性能の向上も図られている。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

「親子2人の女性で暮らすために祖母の遺した住宅をリフォームしたい」という言葉が始まりであり、内部は暗く寒く、外観は重厚で古い印象の入母屋造を「草木を生けたり、季節の移ろいを感じられる文化的な家」という希望に沿って設計した。

まず施主が女性であることから、最も明るく庭の見える南東角部屋にあった出窓にキッチンを組み込む事を提案した。対面やアイランドといった形式的なものとは一線を画す新しいキッチンの提案である。

造作の一部に馴染むキッチンによって機械的な単なる作業場ではなく、

“一日中そこに居たくなる”くつろぎの場所にしたい。窓の外には新しく植栽を足して内部から緑のパノラマを楽しむことができる。玄関のしっくい壁には朝日が差し込み、階段の奥まで光を届ける。家の各所にニッチなどを設け、季節ごとに庭から採取した草花を飾るための場を用意した。

仕上には“本物”の左官壁やタイルにこだわり、質感を大事にした。様々な材料や要素を足しつつも現代的な入母屋造りの家として全体を調和させる事に配慮した。

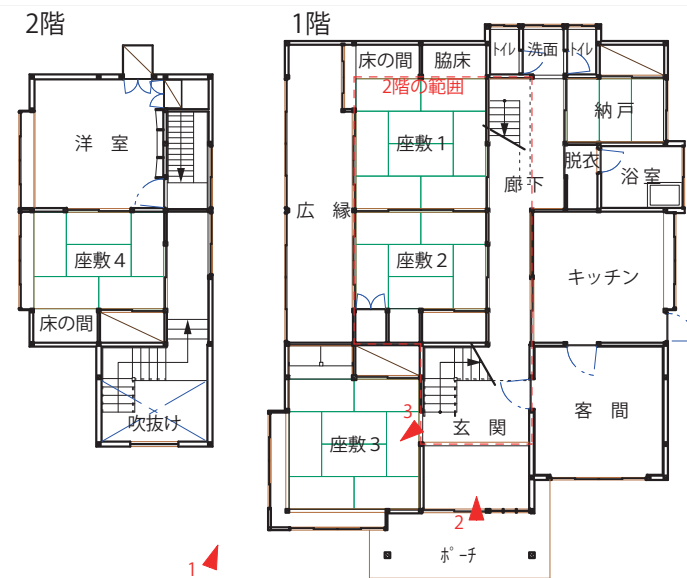
性能向上の特性  
耐震・温熱・光環境を最重要視。サッシ交換で防音・防犯性、全面補修で耐久性向上。

特に配慮した事項  
2階を減築しつつ1階を補強することで耐震性能は一般診断法での評点が1.0になった。全く入っていなかった断熱材も新たに入れ、サッシも交換するなどして建物全体の断熱性能も向上させた。

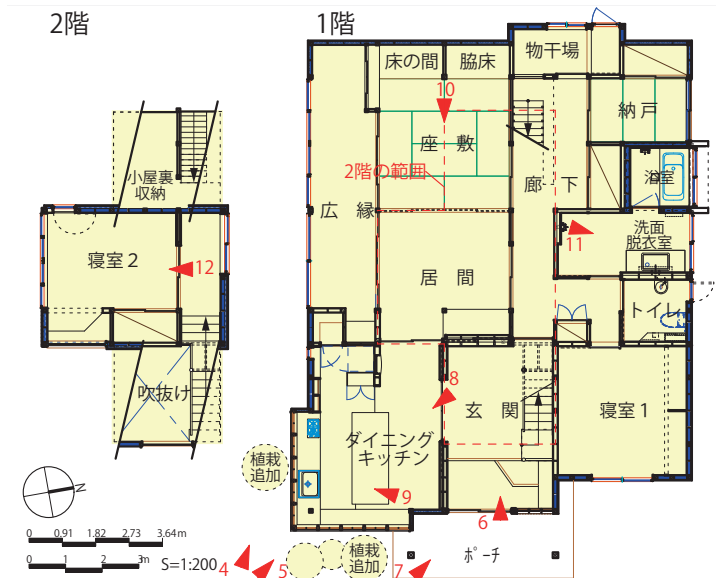
データ

|         |                                                     |        |          |         |         |      |         |
|---------|-----------------------------------------------------|--------|----------|---------|---------|------|---------|
| 所在地     | 長野県松本市                                              | 新築竣工年  | 1974 年   | 築後年数    | 44 年    | 施工期間 | 200 日間  |
| 該当工事床面積 | 160.04 ㎡                                            | 総工事床面積 | 160.04 ㎡ | 該当部分工事費 | 3100 万円 | 総工事費 | 3100 万円 |
| 居住者構成   | 65 歳以上：1 人 / 15～64 歳：1 人 / 15 歳未満：0 人 / ペット：インコ 1 羽 |        |          |         |         |      |         |

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■イタリヤ/ ロマソコ共用部分/ ■その他